

# 2022年度 第1四半期 決算説明資料

---

2022年7月29日

東北電力株式会社

# 目次

## 2022年度 第1四半期決算関連

決算・業績予想ダイジェスト	……	1
業績概要	……	2
連結経常利益の前年同期からの変動要因	……	3
電力販売実績・主要諸元	……	4
電力供給力実績	……	5
セグメント情報（連結）	……	6
貸借対照表（連結）	……	7
損益計算書（連結）	……	8
収支比較表（連結）	……	9
2022年度業績予想	……	10
売上高・利益の推移（連結）	……	12
販売電力量（小売）の月別推移	……	14
燃料消費量実績	……	15

## トピックス

自由化部門お客さまの電気料金の取り扱いについて	……	17
2022年度東北電力グループ中期計画	……	18
原子力再稼働に向けた着実な取り組み	……	19
火力発電所の状況	……	20
再生可能エネルギーの開発	……	21
当社グループの主な再生可能エネルギーの開発・参画地点一覧	……	22
スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦	……	23
スマート社会実現事業とカーボンニュートラル	……	24
地域脱炭素ロードマップに対応する当社グループサービスの提供	……	25
ESGを重視した企業価値創出能力の強化	……	26

# 2022年度 第1四半期決算関連

# 決算・業績予想ダイジェスト

## 2022年度第1四半期決算

### 増収・減益（2017年度以来5年ぶり）

- 売上高は、燃料費調整額の増加による影響
- 経常利益は、燃料価格の高騰や、卸電力取引市場の価格上昇による、電力調達コストの増加影響

## 2022年度業績予想および配当予想

**売上高** **2兆7,400億円**

- 燃料費調整額の増加など

**経常利益** **△2,000億円**

- 燃料価格の高騰や、卸電力取引市場の価格上昇による、電力調達コストの増加など

**配当予想** **中間・期末とも0円**

➤ **売上高**                    **5,582億円** （前年同期に比べ1,576億円の増）

…燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額の増加など。

➤ **経常利益**                    **△286億円** （前年同期に比べ471億円の減）

…燃料価格の高騰や、卸電力取引市場の価格上昇による、電力調達コストの大幅な増加など。

➤ **親会社株主に帰属する四半期純利益**

**△312億円** （前年同期に比べ410億円の減）

### 【連結決算の概要】

（単位：億円）

	2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売 上 高	4,005	5,582	1,576	139.4 %
経 常 利 益 ※1	185 [325]	△ 286 [173]	△ 471 [△ 151]	— [53.4 %]
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	98	△ 312	△ 410	—
連 結 キ ャ ッ シ ュ 利 益 ※2	825	676	△ 149	81.9 %

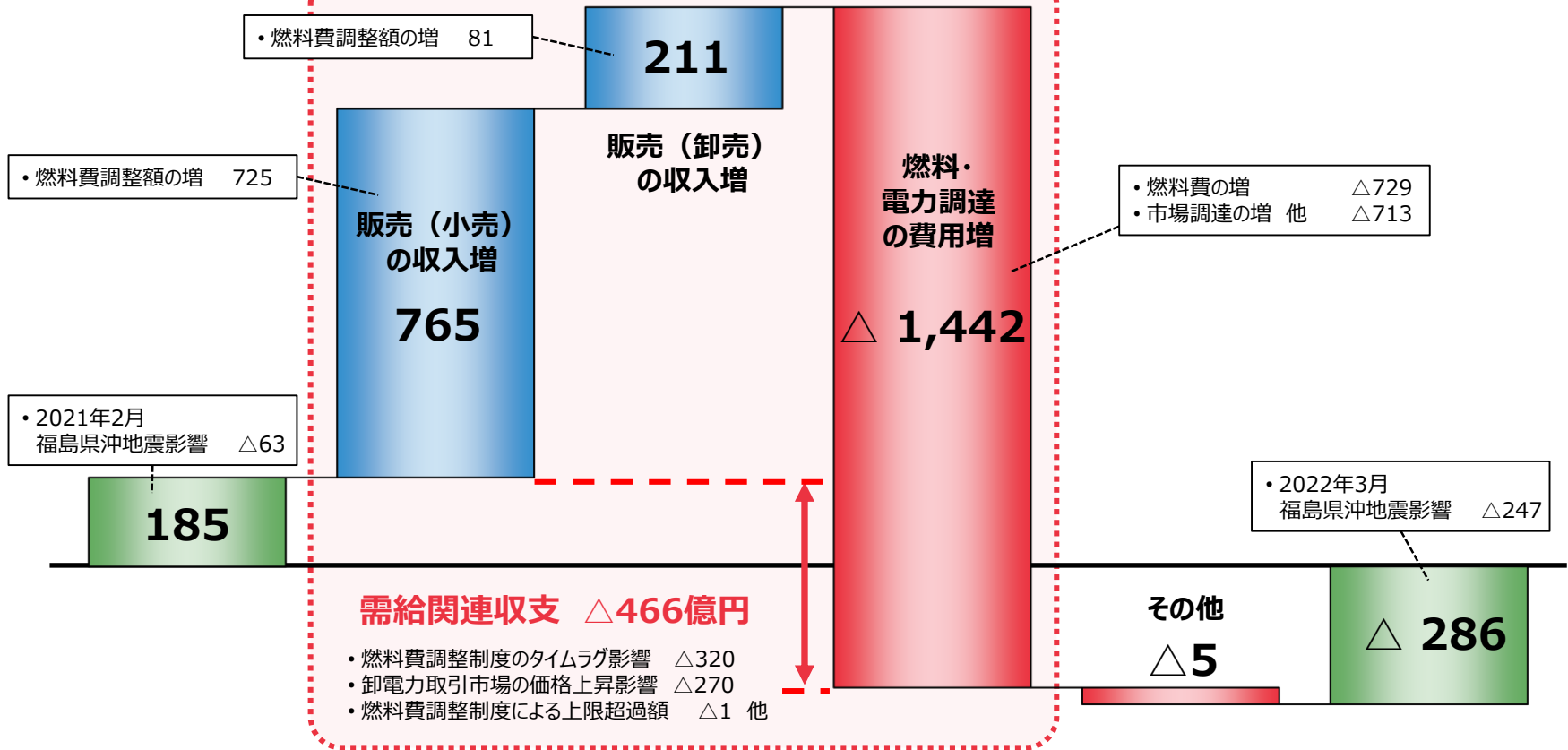
※1 [ ]内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

※2 連結キャッシュ利益 = 営業利益 + 減価償却費 + 核燃料減損額 + 持分法投資損益（営業利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除く）

# 連結経常利益の前年同期からの変動要因

変動額  $\Delta 471$ 億円 (185億円 $\rightarrow$  $\Delta 286$ 億円)

(単位：億円)



2021年度1Q

燃料費調整制度のタイムラグ  
影響除きの経常利益 325

燃料費調整制度のタイムラグ影響を除いた場合の  
収支変動影響額： $\Delta 151$ 億円程度（収支悪化）

2022年度1Q

燃料費調整制度のタイムラグ  
影響除きの経常利益 173

# 電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **154億kWh (前年同期に比べ0.4億kWhの減)**

…競争進展に伴う契約切り替えによる減など。

➤ **卸売** **30億kWh (前年同期に比べ1億kWhの減)**

…火力発電所停止によるエリア外への卸売の減など。

## 【電力販売実績】

(単位：百万 kWh)

【販売実績】※1	2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電 灯	4,598	4,542	△ 56	98.8 %
電 力	10,824	10,838	14	100.1 %
小 売 ※2 計	15,422	15,380	△ 42	99.7 %
卸 売 ※3	3,153	3,038	△ 115	96.3 %
販 売 計	18,576	18,418	△ 158	99.1 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

## 【主要諸元】

	2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増減 (B) - (A)
原油 C I F 価格 (\$ / b b l)	66.9	110.8	43.9
為 替 レ ー ト ( 円 / \$ )	110	130	20
出 水 率 ( % )	92.8	108.9	16.1
原子力設備利用率 (%)	—	—	—

# 電力供給力実績

5

(単位：百万 kWh)

【供給力実績】※1		2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
自社発電 ※2		13,307	11,418	△ 1,889	85.8 %
水力		2,539	2,885	346	113.6 %
火力		10,639	8,382	△ 2,257	78.8 %
原子力		—	—	—	—
新工ネ等		129	151	22	117.0 %
他社・融通※3	受電	6,931	8,386	1,455	121.0 %
	送電	△ 1,304	△ 975	329	74.8 %
揚水用 等		△ 43	△ 95	△ 52	221.9 %
供給力 計 ※3		18,891	18,733	△ 158	99.2 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「自社発電」については、送電端（発電機で発電される電力から所内電力を差し引いたもの）を記載。

※3 「他社・融通」、「供給力計」は一部暫定値を含む。



# セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2021年度1Q (A)		2022年度1Q (B)		増減 (B) - (A)		主な増減要因
	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	
発電・販売	3,045	359	4,322	△ 245	1,277	△ 605	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費調整額の増加により増収</li> <li>・燃料調達価格の高騰、卸電力取引市場の価格上昇による電力調達コストの大幅な増加により減益</li> </ul>
	2,901		3,957		1,056		
送配電	1,533	94	2,160	98	627	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ卸供給の取引量、単価の増やエリア需要の増加により増収</li> <li>・調整力・インバランスの単価増加などにより経常利益は前年同期とほぼ同水準</li> </ul>
	571		1,071		499		
建設	529	△ 26	503	△ 18	△ 26	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般向け発電工事の減少や火力関連工事の反動減により減収</li> <li>・材料費や外注費の減少により損失幅は縮小</li> </ul>
	327		290		△ 37		
その他	470	41	511	38	40	△ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス事業における原料費増加などにより減益</li> </ul>
	205		263		57		
小計	5,578	469	7,498	△ 128	1,919	△ 597	
調整額	△ 1,572	△ 283	△ 1,915	△ 158	△ 342	125	
連結値	4,005	185	5,582	△ 286	1,576	△ 471	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

# 貸借対照表（連結）

（単位：億円）

	2021年度末 (A)	2022年度1Q末 (B)	増減 (B) - (A)	主な増減内容
総資産	47,256	47,314	57	
固定資産	38,091	38,237	146	
流動資産	9,165	9,076	△ 88	現金及び預金 △475 他
負債	39,466	39,797	330	
固定負債	27,540	27,891	351	社債 583、長期借入金 △189 他
流動負債	11,925	11,901	△ 23	
純資産	7,789	7,516	△ 272	親会社株主に帰属する四半期純利益 △312 他
有利子負債残高	27,603	29,479	1,876	社債 1,183、CP 750、借入金 △56
自己資本比率	14.8%	14.2%	△ 0.6%	

# 損益計算書（連結）

(単位：億円)

	2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高（営業収益）	4,005	5,582	1,576	139.4 %
電気事業	3,470	5,027	1,556	144.9 %
その他事業	535	555	20	103.7 %
営業費用	3,777	5,847	2,070	154.8 %
電気事業	3,246	5,292	2,045	163.0 %
その他事業	530	554	24	104.6 %
営業利益	228	△ 264	△ 493	—
営業外収益	16	22	6	137.5 %
営業外費用	59	44	△ 15	74.5 %
経常利益	185	△ 286	△ 471	—
濁水準備金引当又は取崩し	—	3	3	—
法人税等	85	19	△ 65	23.2 %
非支配株主に帰属する 四半期純利益	1	3	2	276.4 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	△ 312	△ 410	—

# 収支比較表（連結）

（単位：億円）

		2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)	主な増減要因	
収 益	電 営 業 事 業 収 益	電灯・電力料収入	2,427	3,217	789	132.5%	燃料費調整額の増
		電灯料	993	1,207	213	121.5%	
		電力料	1,433	2,010	576	140.2%	
		地帯間・他社販売電力料	809	1,507	698	186.3%	市場取引の増
		その他	233	302	69	129.6%	
		小計	3,470	5,027	1,556	144.9%	
	その他事業営業収益	535	555	20	103.7%		
	(売上高)	( 4,005)	( 5,582)	( 1,576)	( 139.4% )		
	営業外収益	16	22	6	137.5%		
	合計	4,022	5,605	1,583	139.4%		
費 用	電 営 業 事 業 費 用	人件費	339	333	△ 5	98.4%	
		燃料費	659	1,432	772	217.1%	C I F 価格の上昇
		修繕費	258	284	25	110.0%	
		減価償却費	401	429	27	106.8%	
		地帯間・他社購入電力料	958	2,206	1,247	230.1%	市場取引の増
		公租公課	207	211	3	101.6%	
		原子力バックエンド	17	18	0	101.2%	
		その他	401	376	△ 25	93.6%	
		小計	3,246	5,292	2,045	163.0%	
	その他事業営業費用	530	554	24	104.6%		
	営業外費用	59	44	△ 15	74.5%		
	合計	3,837	5,892	2,054	153.6%		
	(営業利益)		( 228)	(△ 264)	(△ 493)	( - )	
経常利益		185	△ 286	△ 471	-		
渇水準備金引当又は取崩し		-	3	3	-		
法人税等		85	19	△ 65	23.2%		
非支配株主に帰属する四半期純利益		1	3	2	276.4%		
親会社株主に帰属する四半期純利益		98	△ 312	△ 410	-		

# 2022年度 業績予想（1）

▶ **売上高**      **2兆7,400億円**      **（前年度実績に比べ6,356億円の増）**

…燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額の増加など。

▶ **経常利益**      **△2,000億円**      **（前年度実績に比べ1,508億円の減）**

…燃料価格の高騰や、卸電力取引市場の価格上昇による、電力調達コストの大幅な増加など。

## 連結業績予想

（単位：億円）

	2021年度実績 (A)	2022年度見通し (B)	増 減 (B) - (A)
売上高	21,044	27,400	6,356
営業利益	△ 287	△ 1,800	△ 1,513
経常利益	△ 492	△ 2,000	△ 1,508
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,083	△ 1,800	△ 716
連結キャッシュ利益	2,573	1,300	△ 1,273

## 主要諸元

	2021年度実績	2022年度見通し
販売電力量 ※ (億 kWh)	小 売	673
	卸 売	167
	合 計	841
原油CIF価格 (\$/bbl)	77.2	110 程度
為替レート (円/\$)	112	130 程度
原子力設備利用率 (%)	-	-

## 収支変動影響額

（単位：億円）

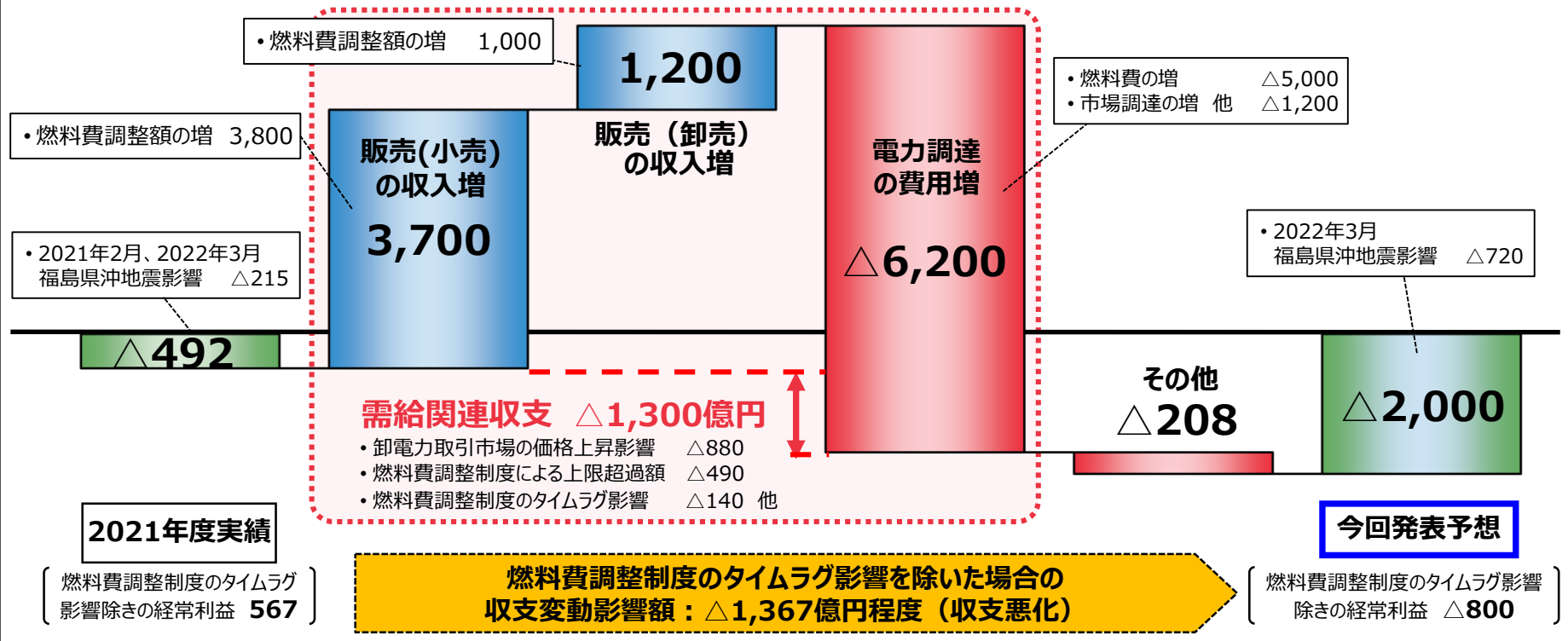
原油CIF価格(1\$/bbl)	27 程度
為替レート(1円/\$)	65 程度

※ 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

## 連結経常利益の変動要因 (前年度実績との比較)

変動額  $\Delta 1,508$ 億円 ( $\Delta 492$ 億円 $\rightarrow$  $\Delta 2,000$ 億円)

(単位：億円)



## 2022年度 配当予想

2022年度配当予想につきましては、今回公表した業績予想を踏まえ、中間・期末ともに見送りとさせていただきます。

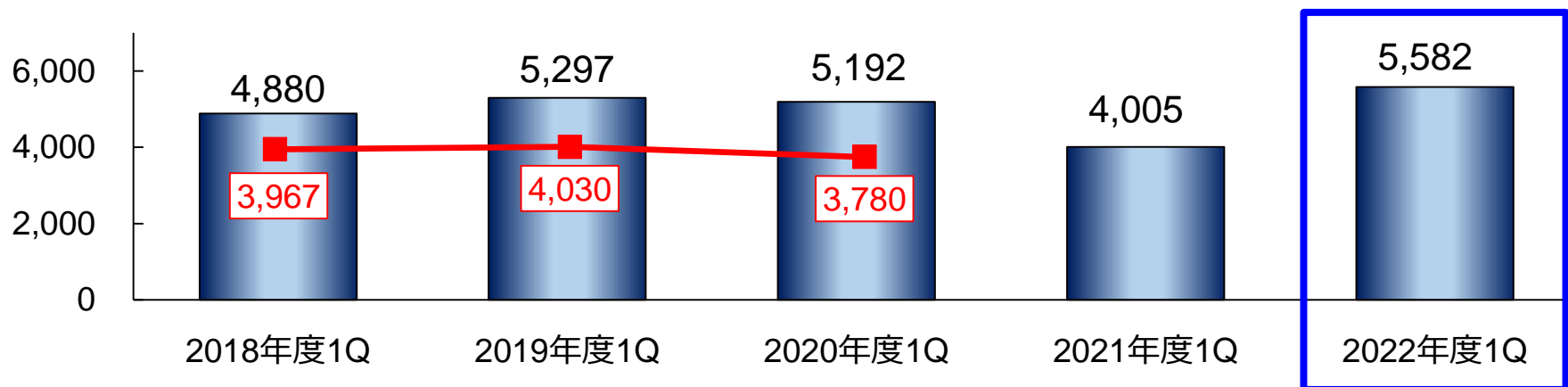
(単位：円)

	中間	期末	年間
2022年度 (予想)	0	0	0
2021年度実績	20	15	35

# 売上高・利益の推移（連結）（1）

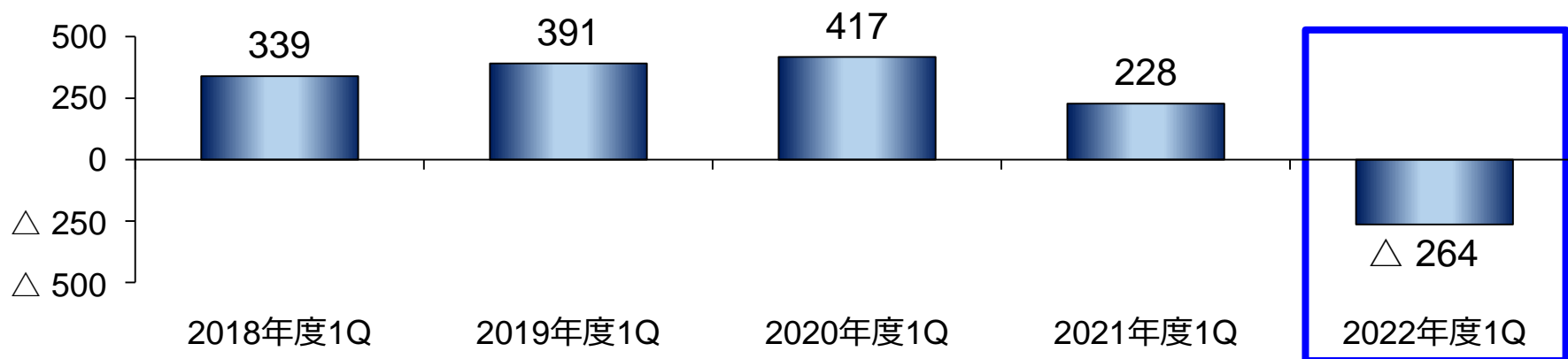
（単位：億円）

## 売上高



※ 赤の折れ線グラフは、再エネ特措法賦課金・再エネ特措法交付金および間接オークション導入に伴う自己約定分等を除いた売上高。2021年度以降は、収益認識に関する会計基準適用後の売上高。

## 営業利益

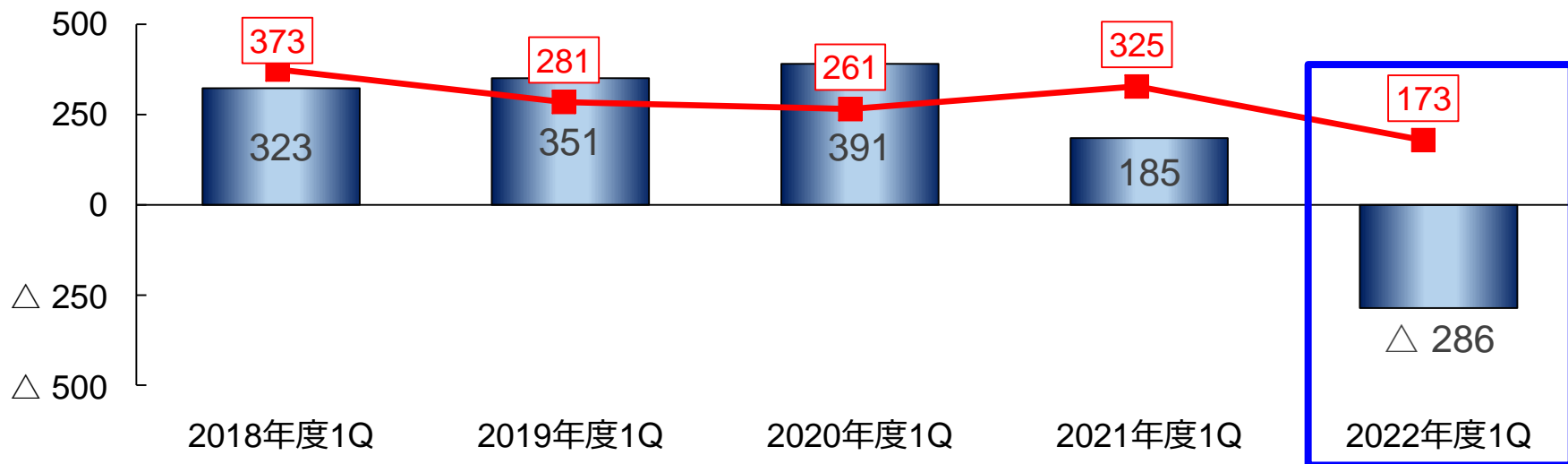


	2018年度1Q	2019年度1Q	2020年度1Q	2021年度1Q	2022年度1Q
売上高営業利益率	7.0%	7.4%	8.0%	5.7%	△4.7%
上記、赤の折れ線グラフの売上高を用いた場合の売上高営業利益率	8.6%	9.7%	11.0%		

# 売上高・利益の推移（連結）（2）

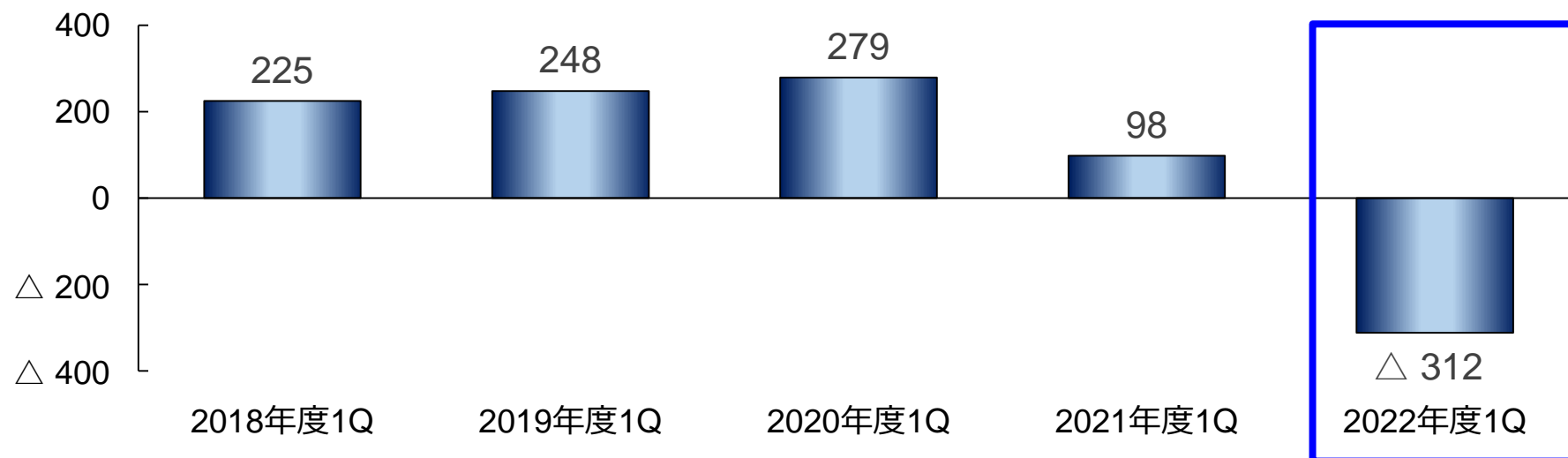
（単位：億円）

## ■ 経常利益



※ 赤の折れ線グラフは、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除いた経常利益を表す。

## ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

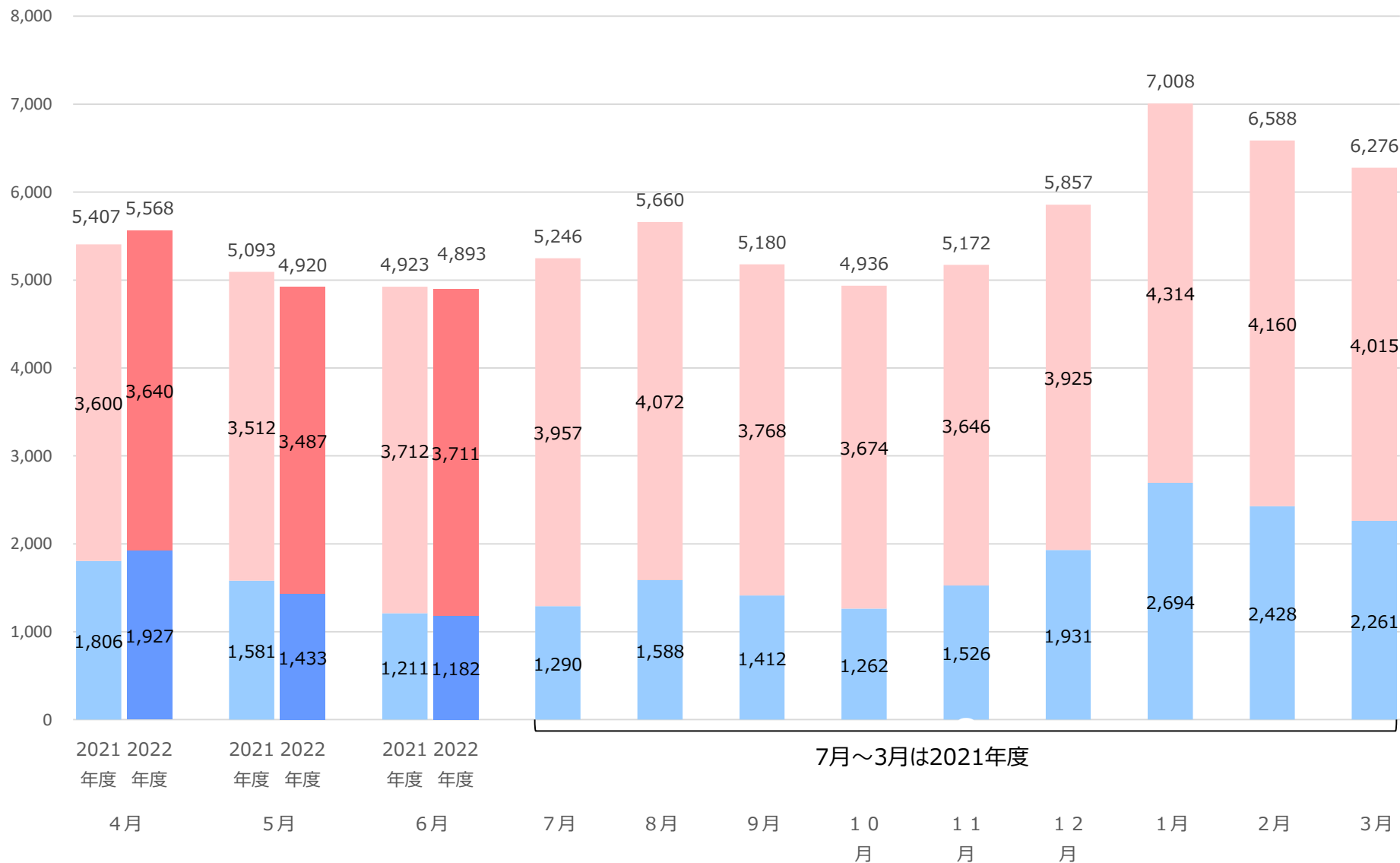




# 販売電力量（小売）の月別推移

(単位：百万 kWh)

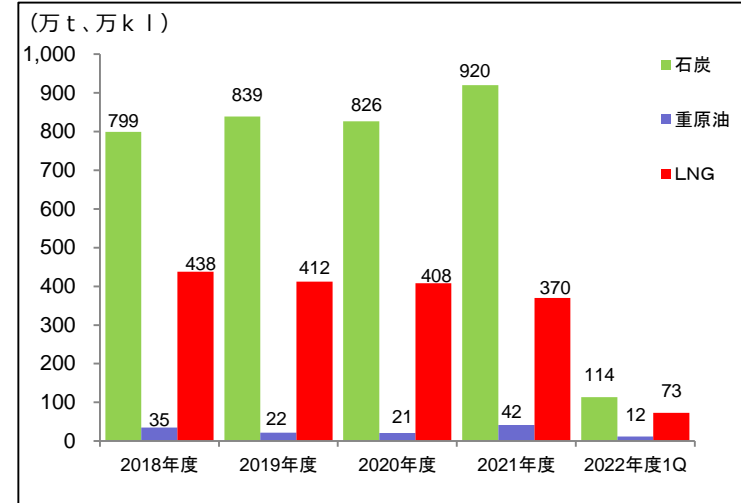
青：電灯 赤：電力



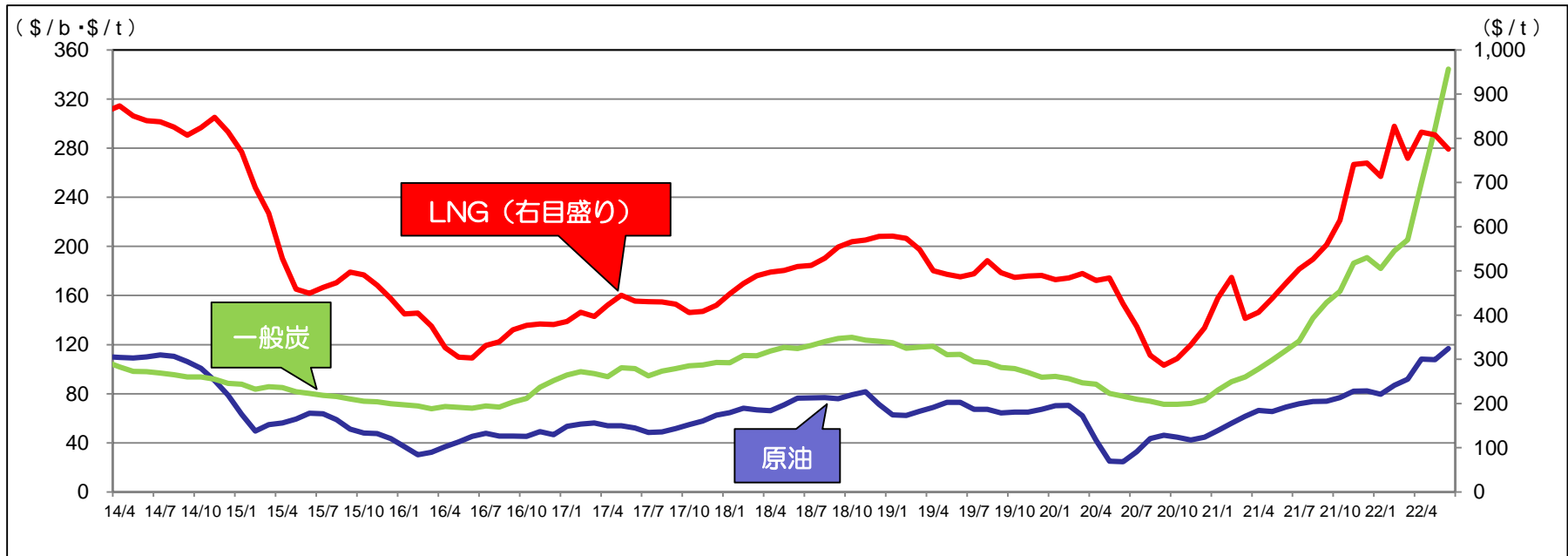
## 燃料消費量

	2021年度1Q (A)	2022年度1Q (B)	増減 (B) - (A)	(参考) 2021年度
石炭 (万 t)	203	114	△ 89	920
重原油 (万 k l)	2	12	10	42
LNG (万 t)	76	73	△ 3	370

※東北電力個社値 + 離島分



## 【参考】全日本通関原油・一般炭・LNG価格の推移



トピックス

- 当社は、2022年11月より、「**高圧以上の電気料金単価見直し**」および「**低圧自由料金プランの燃料費調整制度における上限設定の廃止**」を行うことといたしました。
- 引き続き徹底した経営効率化に取り組み、電力需給の厳しい時期においても、お客さまに広く安定的に電力をお届けするとともに、少しでもお客さまのご負担軽減につながるよう、電気の効率的なご利用方法などのご提案に取り組んでまいります。

## ■ 高圧以上の電気料金単価見直し

- ✓ **高圧以上の全てのお客さま**について、基本料金および電力量料金の単価を見直し、**新たな単価を2022年11月以降ご契約分から適用**させていただきます。
- ✓ 新たな単価の適用による影響について、契約種別毎のモデルケースでは、見直し前の水準（2022年9月分燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金含む）に比べて**16～18%の値上げ**になるものと試算しております。

## ■ 低圧自由料金プランの燃料費調整制度における上限設定の廃止

- ✓ **自由料金プランでご契約いただいている低圧のお客さま**について、**2022年11月検針日以降に電気をお使いいただいた分（12月電気料金分）より、燃料費調整制度の上限を外した形で燃料費調整額を電気料金に反映**させていただきます。

規制料金プラン（今回対象外）	自由料金プラン（今回対象）	
従量電灯 A・B・C 臨時電灯 A・B・C 定額電灯 低圧電力 など	よりそう+ファミリーバリュー よりそう+シーズン&タイム よりそう+ナイト8（時間帯別電灯A） よりそう+ナイト10（時間帯別電灯B） よりそう+ナイト12	よりそう+ナイトS（時間帯別電灯S） よりそう+ナイト&ホリデー よりそう+サマーセーブ（P S 季節別時間帯別電灯） よりそう+eねっとバリュー 深夜電力 A・B・C

なお、上記に関する詳細につきましては、2022.7.29付当社プレスリリース「**自由化部門お客さまの電気料金の取り扱いについて**」  
[https://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1228542\\_2558.html](https://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1228542_2558.html)」をご覧ください。

【プレスリリースにてお知らせしている内容】

1. 当社を取り巻く環境
2. 当社の財務状況
3. 効率化の取り組み
4. 今回の見直しに至った背景について
5. 高圧以上の電気料金単価見直しの概要
6. 低圧自由料金プランの燃料費調整制度における上限設定の廃止の概要
7. 当社の今後の取り組み

- 2022年度東北電力グループ中期計画については、「よりそうnext」実現の方向性を堅持する観点から、引き続き“Change”・“Challenge”・“Create”を力点として設定する。
- その上で、踏み込んだ対策を講じ利益最大化を図ることをテーマとし、これを東北電力グループ従業員一人ひとりが実行することにより、「よりそうnext」を実現するとともに、カーボンニュートラルへ挑戦する。

## 2022年度中期計画の力点

### 従来の方向性を堅持

#### 力点1 “Change”

電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

#### 力点2 “Challenge”

スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

#### 力点3 “Create”

企業価値創造を支える経営基盤の進化

## 力点を踏まえた2022年度中期計画の方向性

### 利益最大化に資する踏み込んだ対策

- 構造変化する市場環境においても持続的に利益を創出できる事業構造への転換を進め、電力供給事業を構成する各機能が、各々のミッション遂行と利益最大化を両立させる。
- 電力小売を切り口とする付加価値の高いサービスパッケージのご提案により競争に打ち勝ち、利益を積み上げるとともに、サービス開発～販売開始のサイクルの高速回転により独自のサービスプラットフォームの構築を加速する。
- 社会要請やステークホルダーからの期待の変化への感度を高め、グループをあげてESGを中心としたサステナビリティの取り組みを積極的に進める。

「よりそうnext」の実現・カーボンニュートラルへの挑戦

▶ 地域の皆さまからのご理解を得ながら、安全性向上に向けた取り組みを着実に実施。

## ■ 女川原子力発電所

適合性審査	①原子炉設置変更許可（2020年2月26日） ②工事計画認可（2021年12月23日） ③現在、保安規定変更認可申請の審査に対応中（補正書提出2022年6月30日）
安全対策工事	現在、2023年11月の工事完了を目指し、防潮堤嵩上げ工事、フィルタベント装置の設置工事、圧力抑制室の耐震補強工事などを実施中
使用前事業者検査	2022年5月より使用前事業者検査を実施中 主な検査工程は、①燃料体を挿入できる段階の検査が2023年11月まで、②臨界反応操作を開始できる段階の検査が2024年2月まで、③工事完了時の検査が2024年4月までと想定。なお、②の検査終了後原子炉起動操作を行い、その後、発電機を並列し発電を開始する「再稼働時期」を、他社事例や当社の過去実績を踏まえ、一定の目安として2024年2月と想定



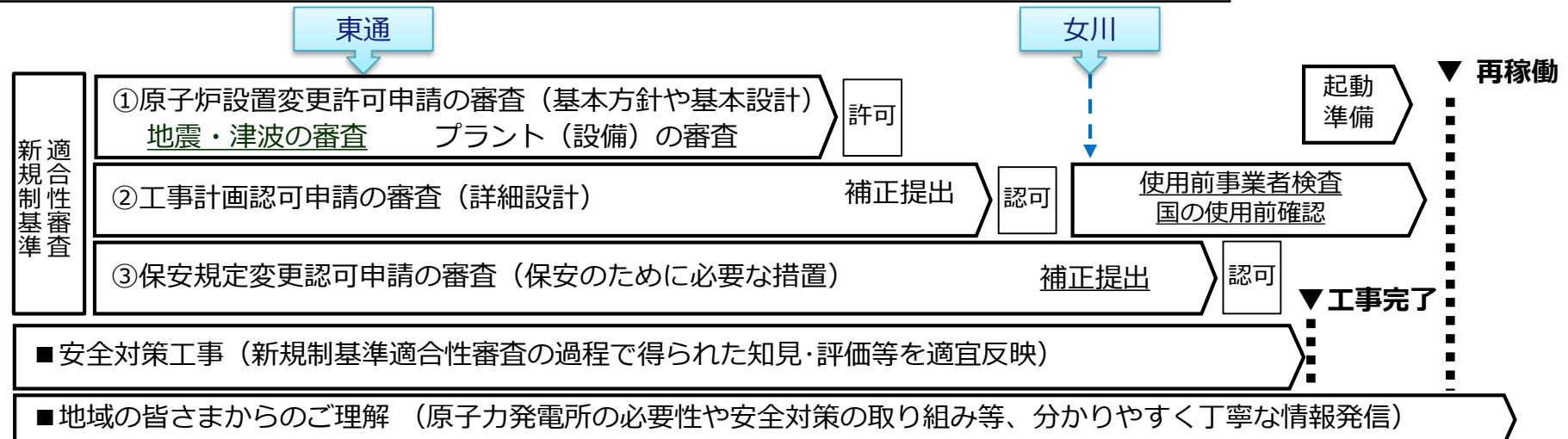
工事が進む海拔29mの女川原子力発電所の防潮堤

## ■ 東通原子力発電所

適合性審査	①現在、原子炉設置変更許可申請（地震・津波）の審査※に対応中 ※基準地震動および基準津波の策定に関する審査に対応中
安全対策工事	現在、2024年度の工事完了を目指し、フィルタベント設備、緊急時対策所の設置工事や耐震工事などを実施中



東通原子力発電所全景



- ▶ 2022年3月の福島県沖地震で被災した発電所の早期復旧に取り組み、熱効率の高い火力電源の新設を進めることで、供給力の安定化を図るとともに、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進していく。

## 2022年3月福島県沖地震で被災した発電所の復旧状況

	発電所	ユニット	被災状況	復旧時期
東北電力	仙台火力発電所	4号	タービン軸受台およびシールフィンの一部損傷（補修対応完了） 予防保全点検の試運転過程において、ガスタービンに不具合が発生	未定
	新仙台火力発電所	3-1号	タービン軸振動大による自動停止 （地震被害はなかったが、一部の弁に動作不良を確認）	3月25日復旧済
		3-2号	タービン軸振動大による自動停止 （地震被害はなし）	3月17日復旧済
	原町火力発電所	1号	ボイラー内部配管の一部変形	5月10日復旧済
		2号	ボイラー内部配管の一部損傷・変形	7月13日復旧済
相馬共同 火力	新地発電所	1号	ボイラー、タービン設備の一部損傷	10月31日（予定）
		2号	タービン設備の一部損傷（地震当時、主変圧器不具合で停止中）	2023年1月13日（予定）

## 競争力ある電源の新設（上越火力1号機：2022年12月営業運転開始予定）

- ✓ 自社火力設備の経年化や、競争環境の進展を踏まえ、**コスト競争力のある最新鋭の火力電源**として、2022年3月31日より試運転開始。
- ✓ 最先端技術を反映した「強制空冷燃焼器システム採用次世代ガスタービン」を導入し、ガスコンバインドサイクル発電設備として世界最高水準となる熱効率63%以上を目指しており、燃料消費量と二酸化炭素排出量を削減し、高い経済性と環境負荷低減を実現。
- ✓ **2022年12月の営業運転開始**へ向け各種試験を実施中。





- ▶ 昨年公表した「カーボンニュートラルチャレンジ2050」のもと、東北・新潟地域に豊富に賦存する再生可能エネルギーを最大限活用するため、**風力発電を主軸とした開発目標200万kWの早期達成を目指す。**
- ▶ 東北電力グループは2022年6月末現在、30のプロジェクトの新規開発・事業参画に取り組んでおり、**全ての開発案件が事業化された場合の持分出力の累計は約65万kW。**

## ■ 至近の取り組み状況

### 岩手県沖における浮体式洋上風力発電の共同事業化に向けた調査

- ✓ 浮体式洋上風力発電のグローバルリーダーである仏BW Ideol社と共同し、岩手県久慈市沖において実現可能性調査を開始。
- ✓ 今後、両社は浮体式洋上風力発電事業の実現に向けた取り組みを通じて、再生可能エネルギーの拡大に積極的に取り組んでいく。



【写真提供：BW Ideol】

### 大中台牧場風力発電事業

事業会社	八甲田風力発電 株式会社
事業場所	青森県十和田市
出力規模	4,000kW (2,000kW級風力発電機 ×2機)
運転開始	2024年11月

### 深持風力発電事業の開発可能性調査

開発主体	株式会社エコ・ワークス 東北電力株式会社
事業場所	青森県十和田市 上北郡七戸町
出力規模	最大94,600kW
設置基数	最大22基
運転開始	2030年度以降



大中台牧場風力発電事業、深持風力発電事業  
開発予定区域



## 開発・参画中の発電所

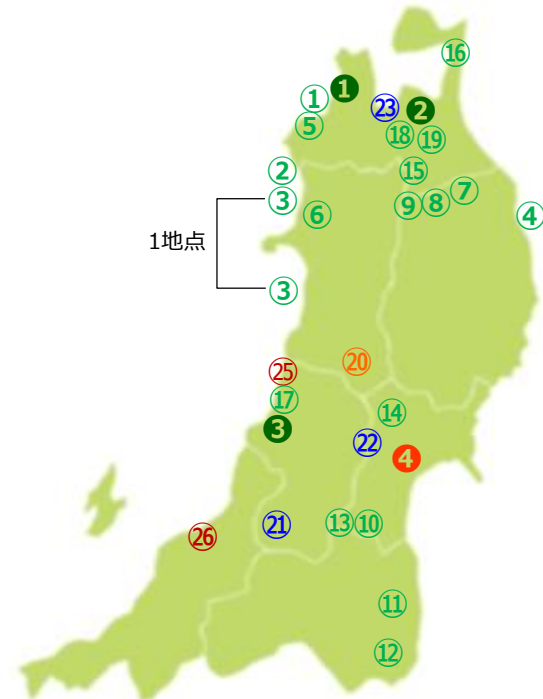
(2022年6月末現在)

	名称 (●:当社グループ単独開発)	出力規模	運転開始予定時期	
洋上風力	① つがる洋上風力	約48万kW	2028年度以降	
	② 八峰能代沖洋上風力	約35.6万kW(最大)	2028年度以降	
	③ 秋田港および能代港洋上風力	約14万kW	2022年	
	④ (未定) 久慈市沖浮体式洋上風力	(未定)	(未定)	
陸上風力	⑤ 深浦風力	約7万kW	2024年2月	
	⑥ 能代山本広域風力	約10万kW	2023年度以降	
	⑦ 折爪岳南1風力	約4.4万kW	2023年1月	
	⑧ 稲庭田子風力	約10万kW	2025年度以降	
	⑨ 稲庭風力	約10万kW	2025年度以降	
	⑩ ●白石越河風力	約3.8万kW	2024年度以降	
	⑪ 阿武隈南部風力	約9万kW	2025年度以降	
	⑫ たびと中央ウインドファーム	約5.46万kW	2027年度以降	
	⑬ 稲子峠ウインドファーム	5.88万kW(最大)	2028年5月	
	⑭ 宮城加美町ウインドファーム	約4.2万kW	2024年度	
	⑮ ●(仮称) 田子風力	約7.56万kW(最大)	2027年度以降	
	⑯ 下北風力	約9.6万kW	2027年以降	
	⑰ JRE酒田風力リブレース	約2.75万kW(最大)	2026年	
	⑱ 大中台牧場風力	0.4万kW	2024年11月	
	⑲ 深持風力	9.46万kW(最大)	2030年度以降	
	地熱	⑳ ●木地山	1.49万kW	2029年
	水力	㉑ ●玉川第二水力	1.46万kW(最大)	2022年10月
		㉒ ●鳴瀬川発電所	0.23万kW(最大)	2034年度
		㉓ ●新上松沢水力	0.94万kW(最大)	2031年11月
太陽光	㉔ 津波瀬太陽光	3.5万kW	2023年3月	
バイオマス	㉕ 鳥海南バイオマス発電所	5.29万kW	2024年10月	
	㉖ 新潟東港バイオマス発電所	5万kW	2024年10月	

**開発・参画実績**  
(2022年6月末現在)

持分出力累計※ 約 **65** 万kW

※左記開発案件が、全て事業化された場合



## 運転開始済の発電所

※開発可能性調査等も含む

	名称	出力規模	運転開始月
陸上風力	① ウインドファームつがる	12.16万kW	2020年4月
	② 七戸十和田風力	3.05万kW	2021年12月
	③ 鶴岡八森山風力	1.36万kW	2021年11月
太陽光	④ 宮城大郷ソーラーパーク	3.75万kW	2021年10月

(三重県津市)

㉔ 津波瀬太陽光

●:風力 ●:水力 ●:太陽光 ●:地熱 ●:バイオマス

▶ 2021年4月に設立した「東北電力フロンティア株式会社」の特長である機動性を活かし、社会課題の解決につながるサービスを短期間でリリース。グループとしての電気およびサービスの利益最大化を目指す。

東北電力フロンティアにおけるサービス開発コンセプトとサービスラインナップ

＜サービス開発コンセプト＞  
でんきにもっと、トキメキを。

じぶん時間に・かぞく時間に  
まだ出会ったことのないトキメキを  
でんきと暮らしを彩るサービスで  
東北電力フロンティアは  
お客さまに新たなトキメキを  
つぎつぎとお届けしていきます

じぶん時間を  
楽しむ

かぞく時間を  
楽しむ



じぶん時間・かぞく時間を  
つくる・ささえる

2022年度  
リリース

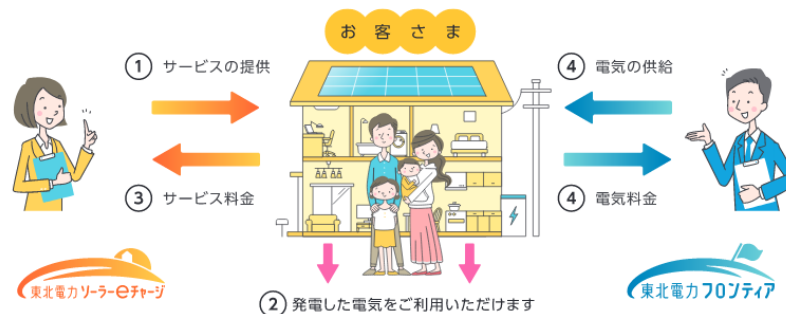
＜主なサービスラインナップ＞

単日・短時間 雇用マッチングサービス	東北電力フロンティアの スマートDAYWORK!
トキメクくらしの 家計ご相談サービス	トキメクくらしの家計ご相談サービス
マイカーリースサービス 東北電力フロンティアで乗る	東北電力 フロンティアで乗る
クラフトビールの販売サービス	おうちから クラフト CRAFT BEER
キャンプ体験・用品レンタル	CAMP FRONTIER
キャンプ用品レンタル・配送	hinata レンタル
絵本の定期購入サービス	WORLD LIBRARY Personal
リユース子供服購入サービス	キャリ・オン CARRY ON
パーソナライズコーヒーの定期便	PostCoffee®
ライフアップレンタルサービス	alice STYLE
くらしのシンプル保険	東北電力フロンティア くらしのシンプル保険
飲料水宅配サービス	Aqua Clara
宅配収納サービス	サマリーポケット

- ▶ スマート社会実現事業ではカーボンニュートラルに向けた取り組みも進めており、具体的には、分散型エネルギーの普及拡大と再生可能エネルギー発電設備の有効活用に加え、再エネアグリケーション等のサービス拡充を図っていく。

### 既存住宅向け定額太陽光サービス「ポン！とソーラー」

- ✓ 東北電力ソーラーeチャージが所有する太陽光発電設備をご自宅の屋根にポン！と導入いただける新サービス。
- ✓ **毎月定額のお手軽なサービス料金**で、太陽光で発電したエコな電気をご利用いただき**光熱費を低減**。
- ✓ サービス期間（10年もしくは15年）終了後、太陽光発電設備はそのままお客様へ**無償譲渡**。



### 再生可能エネルギーの電力取引業務を支援する「再エネアグリゲーションサービス」

- ✓ 再エネ事業者さまに代わり、当社が精度の高い発電計画を策定することで、**発生するインバランスを低減**。
- ✓ 再エネ事業者さまに一定のサービス料金をお支払いいただいた上で、インバランス料金を当社が負担。
- ✓ 当社が日々の入札等、市場での取引を代行することで、**F I T 同様、発電しているだけで売電することが可能**に。



▶ 国が主唱する「地域脱炭素ロードマップ」の実践に資する当社グループのサービスをお客さまへご提案。

(詳細は当社HP:<https://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/pdf/decarbonization.pdf>を参照)

地域脱炭素ロードマップにおいて当社グループが貢献できる分野(○で囲った項目。番号は下表の「ご提供できるサービス」に対応。)

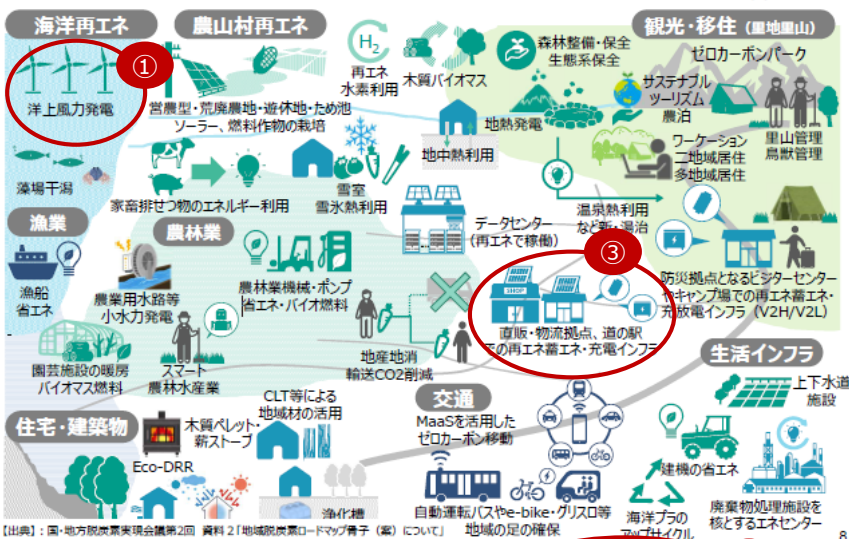
## 脱炭素先行地域の暮らし・営みのイメージ【都市部の街区】

※適用可能な最新技術を、各地域の多様な実情に応じて選択しつつ活用し、2025~30年に実現を目指すもの



## 脱炭素先行地域の暮らし・営みのイメージ【農山漁村】

※適用可能な最新技術を、各地域の多様な実情に応じて選択しつつ活用し、2025~30年に実現を目指すもの



### 当社グループがご提供できるサービス

サービス提供元	ご提供できるサービス
(株)ユアテック	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ関連工事(大規模太陽光発電設備, 風力発電設備導入等) …①③</li> <li>最新の省エネ技術を踏まえた提案・施工によるZEB化への推進支援…②</li> <li>EV充電スタンド設置工事…③</li> <li>BCP対策提案・各種設備工事(非常用発電設備の導入等)…⑥</li> </ul>
東北エネルギーサービス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自家消費型太陽光発電サービス(設備導入費用負担なし, 電気の使用量に応じたサービスフィーだけお支払い)…①</li> <li>空調設備受託サービス(高効率な機器に初期投資なく更新し, 月々定額のサービス料金をお支払い)…④⑤</li> </ul>
東北電力ソーラー e チャージ(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者所有モデルによる太陽光・蓄電池サービス(初期費用負担なし, 毎月定額のサービス料金のみお支払い)…①</li> </ul>
東北電力リニューアブルエナジー・サービス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ設備メンテナンス・オペレーション, 作業員トレーニング…①</li> </ul>
(株)東北開発コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZEB設計・省エネコンサルティング(ZEB化に向けて建物計画・設計から維持管理まで業務支援)…②④⑤</li> </ul>
(株)東日本テクノサーバイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン, 3Dレーザースキャナ等の活用による再エネ電源関連の測量, 調査サービス…⑥</li> </ul>



- ▶ 東北電力グループは、サステナビリティを経営の中核に据え、中長期的な企業価値向上と社会全体の持続的な発展に貢献するために、優先的に取り組むべき課題である「サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）」を特定。
- ▶ マテリアリティの解決に取り組み、「よりそうnext」の実現や「カーボンニュートラルチャレンジ2050」への挑戦を通じて、未来世代にわたるステークホルダーとともに社会価値と企業価値を持続的に共創していくことを目指す。

### サステナビリティ重要課題 (マテリアリティ)

カーボンニュートラル  
への挑戦

循環型社会の形成

生物多様性の保全

快適・安全・安心な  
暮らしと地域社会の実現

レジリエントな  
社会インフラの構築

多様な人財が  
イキイキと働く職場作り

様々なステークホルダーの  
人権尊重

健全で透明性のある  
企業経営

東北電力グループ中長期ビジョン  
Tohoku Electric Power Group Management Vision

よりそうnext

東北発のスマート社会実現を目指して

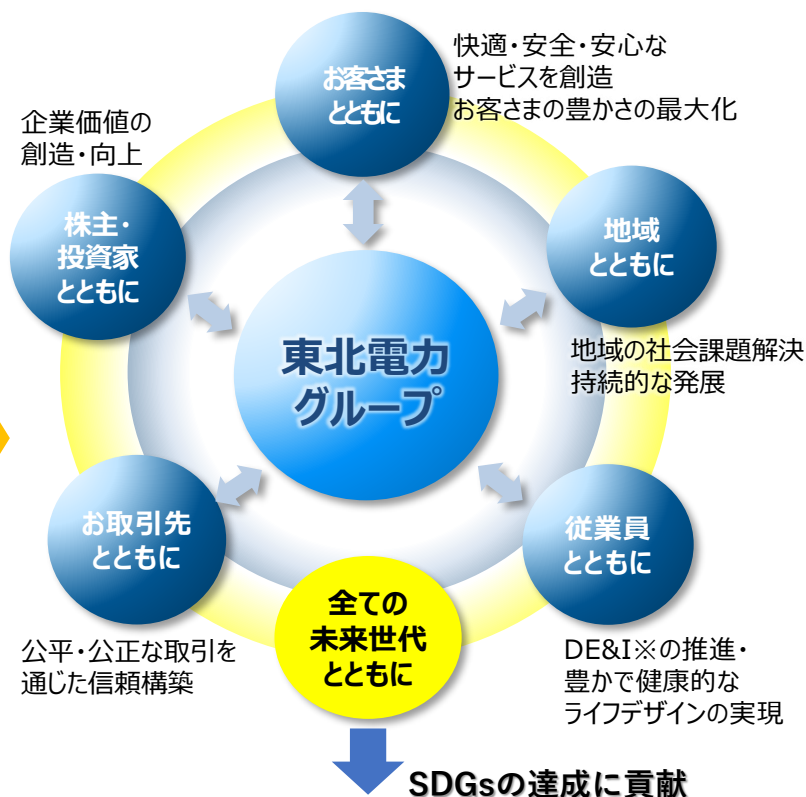


東北電力グループ

カーボンニュートラルチャレンジ2050

Tohoku Electric Power Group Carbon Neutral Challenge 2050

### ステークホルダーと共創する価値



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



※DE&I=ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

当資料は、東北電力グループの評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。当資料に掲載されている予測数字等は、東北電力グループの将来に関する見通しおよび計画に基づく将来予測となります。

従って、これらの業績見通しのみにより全面的に依拠する事はお控えくださいますようお願いいたします。

これらの将来予測には、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因が含まれており、その要因によって東北電力グループの実際の成果や業績、実績などは、記載の見通しとは大きく異なることが有り得ます。

このため、本資料に掲載された情報により、なされた投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

資料内の「1Q」表記は4月から6月までの期間を指し、「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。

**お問合せ先： 東北電力株式会社 グループ戦略部門 財務戦略・経営管理ユニット**